



農商工連携促進事業





農商工連携促進事業とは

中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用する農商工連携の取組を促進するために、農林漁業者と中小企業者の有する技術を上手く組み合わせることにより、農商工連携による新事業を創出することを目的とした事業です。

目次

事例1～6

- | | | | |
|----|--|----|---|
| 04 | 事例1
ICT技術を活用した農業法人における
生産性の向上と競争力強化
一般社団法人 北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部 | 05 | 事例2
食のマッチング交流会の開催に伴う、
マッチング事例の創出について
横須賀商工会議所 |
| 06 | 事例3
「能登の里山里海を未来へプロジェクト」で
多様な事業者のプラットフォームを
株式会社 御祓川 | 07 | 事例4
広島らしい一次産業の課題解決をはかる
農商工連携の推進
一般社団法人 とびしま柑橘倶楽部 |
| 08 | 事例5
フードバリューチェーンの構築と
スマート農業の導入支援
那賀川町商工会 | 09 | 事例6
テリハボク種子からアロマオイルを
抽出・加工販売する連携事業
株式会社 エフエムみやこ |

その他の事例

- | | | | |
|----|--|----|---|
| 10 | 一般社団法人 北海道食品産業協議会
エミプラスラボ合同会社
特定非営利活動法人 仕事人倶楽部
株式会社 東北農都共生総合研究所 | 11 | 公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク
協同組合 さいたま総合研究所
一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
株式会社 テスク |
| 12 | 株式会社 十六銀行
特定非営利活動法人 人材育成センター
株式会社 総合計画機構
株式会社 シーズ総合政策研究所 | 13 | 庄原商工会議所
一般社団法人 山口県中小企業診断協会
株式会社 リバースプロジェクトレーディング
一般社団法人 九州の食 |
| 14 | 公益財団法人 大分県産業創造機構
一般社団法人 宮崎県農業法人経営者協会
株式会社 萌す | | |

- 15 平成30年度農商工連携促進事業 実施機関



事例1

ICT 技術を活用した農業法人における 生産性の向上と競争力強化 一般社団法人 北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部

取り組み背景

当会は旭川市を中心とした道北地域(北海道の振興局では、上川・留萌・宗谷・空知のエリア)で学び合い活動を通じて、自社・地域の課題解決に取り組んでいる。所属組織の「農業部会」でも農業に関する学びを行っているが、基幹産業である農業が人手不足など厳しい環境におかれていることがわかった。そこで農林漁業者のニーズを丁寧に把握し、中小企業者等が所有するシーズを発掘して発信し、課題解決や商品開発に繋がる農商工連携促進事業に取り組むに至った。

ニーズ・シーズ収集

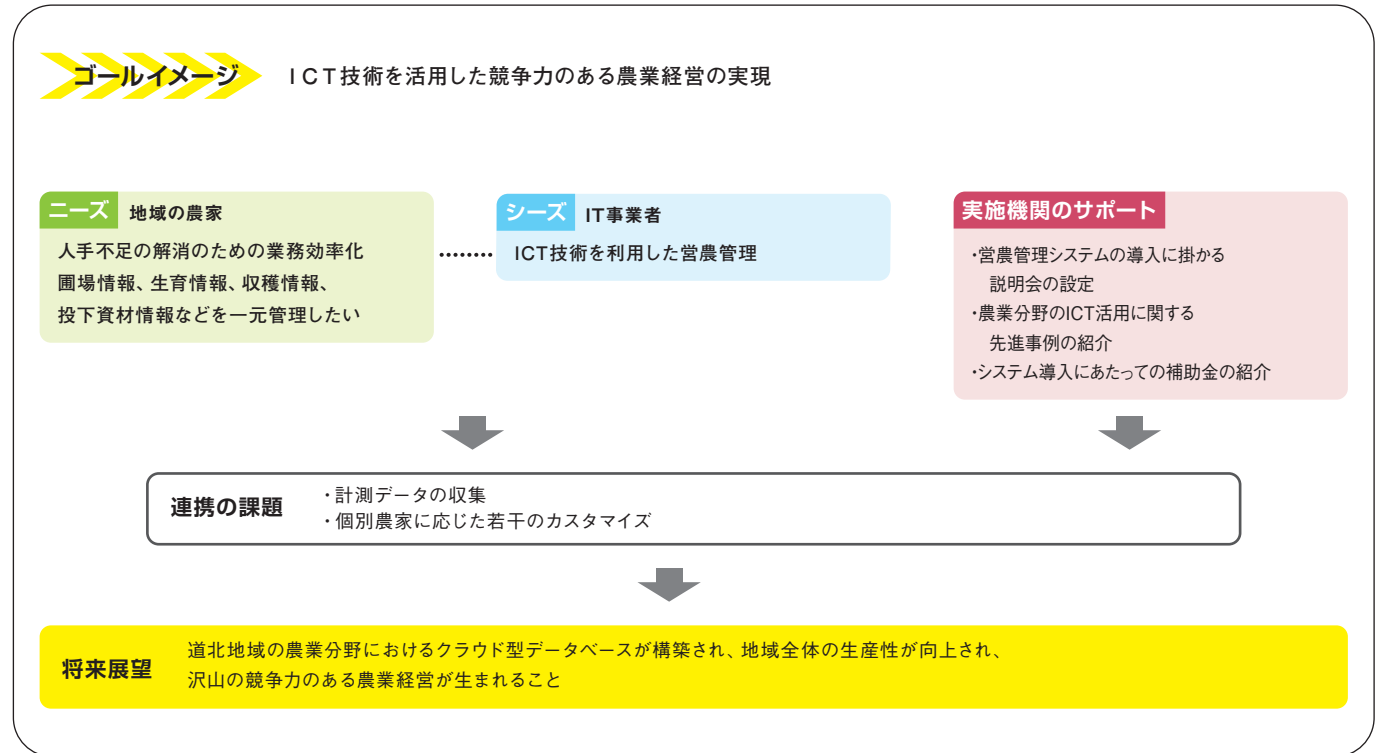
農林水産業のニーズは平成29年度事業のマッチングファイル(農林水産業者のニーズ集)作成の過程で人手不足が深刻であることを把握していた。人手不足を機械化で解消することは出来ないことはないが、本質的な課題は「競争力のある農業経営」の仕組みを構築することだと捉えた。そこで中小機構のJ-Net21「農商工連携パーク」を活用して2014年度に農商工等連携事業計画の認定を受けたIT事業者のシーズを収集した。

マッチング手法

2018年8月22日に農業部会メンバーを集め、IT事業者社長に同社のシステム「クラウド型営農管理システム しっかりファーム」についての説明をしてもらい、報告後は質疑応答を行った。その後、同友会事務局が個別相談などを通じて、農業分野のICT活用に関する先進事例やIT導入補助金を紹介するなどマッチングをサポートした。

マッチング事例概要

説明会に参加した農業者のうち4社が、「クラウド型営農管理システム しっかりファーム」の導入に取り組むことになった。同システムを導入することで、農業生産と管理事務の効率化が図られ、効率化によって生じた余剰時間を活用し、売上拡大に結びつくことが想定される。また、JGAPや有機JAS認証の審査で必要な情報管理も容易にできるようになっており、お客様に「安心・安全」な食品をお届けし、信頼を向上させることが出来る。



事例2

食のマッチング交流会の開催に伴う、 マッチング事例の創出について 横須賀商工会議所

取り組み背景

当所は、平成22年度から横須賀市とともに「地産地消」の推進事業に取り組んでおり、横須賀・三浦半島の食材の魅力のPRはもとより、その食材を使用した店舗のプロモーション、販路拡大支援を継続して実施してきている。
その中で、生産者の生産現場へ赴き、その生産物が取れている場所で生産者に自身が栽培(獲って)いる食材をPRしてもらうことで、より一層横須賀・三浦半島の食材がPRでき、その食材を取扱いたい事業者とのマッチングがスムーズになると考えた。

ニーズ・シーズ収集

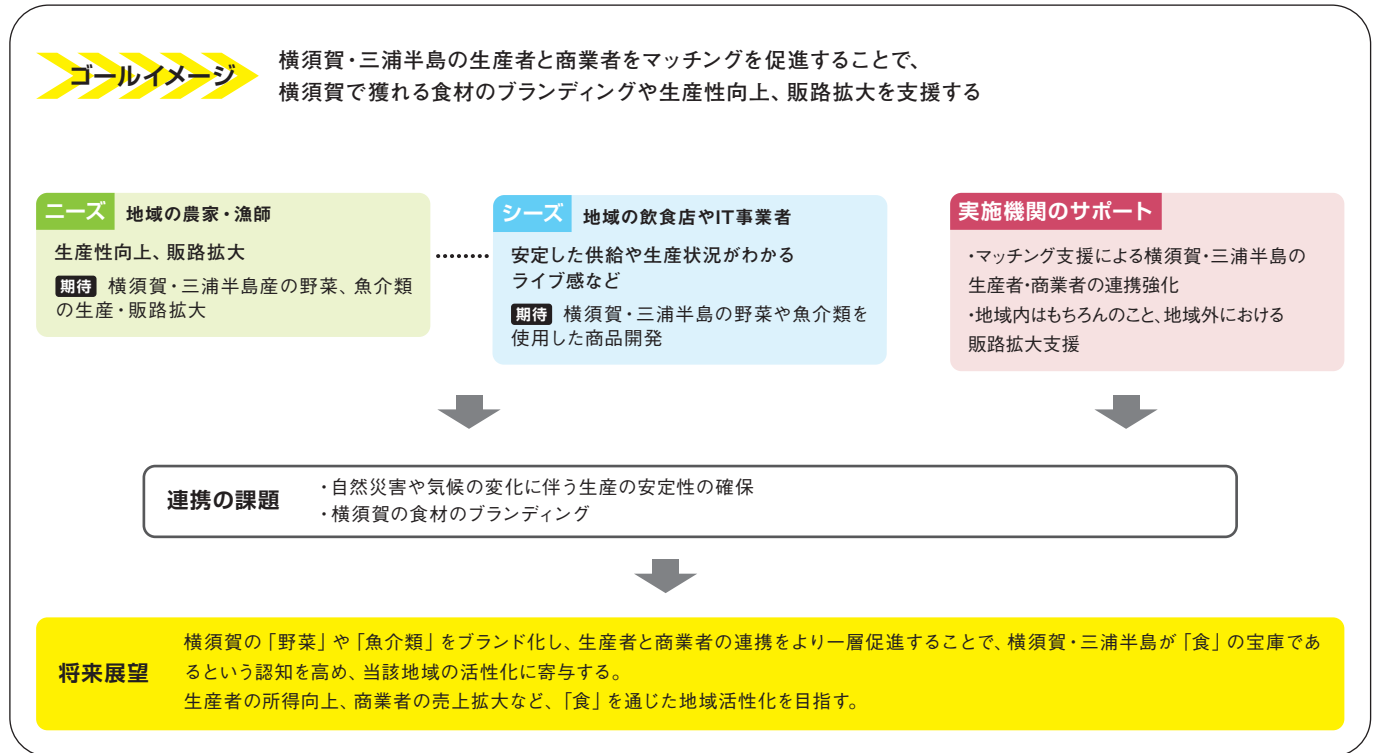
横須賀には新鮮でおいしい農水産物があることを市民や観光客に発信し、消費拡大及び店舗の集客促進を図ることを目的として実施している「よこすか地産地消ショップ登録制度」登録店に対して、アンケートやヒアリングを実施した。地産地消ショップ数は生産者、事業者合わせて約200店あり、様々な課題や要望の中でそのニーズとシーズを収集した。

マッチング手法

横須賀・三浦半島内の生産者と事業者等のマッチング支援と横須賀産の農水産物及び商品の市外への販路拡大を目的に食のマッチング交流会を昨年度と今年度、計4回実施した。商工会議所という地域の公益的な組織が間に入ることによって、安心して地域の事業者同士や生産者と知り合え、ビジネスのチャンスが生まれる土壌が醸成できた。

マッチング事例概要

食のマッチング交流会に参加していたセンサーネットワーク事業者社長と漁業者、農業者とのマッチングが実現。国際無線規格であるWi-SUNを使用したデバイスを牡蠣やわかめの養殖場やビニールハウスに設置し、生育状況の管理を行うこととなった。そのことで、生産性のアップ・効率化が図られることが期待される。





事例3 「能登の里山里海を未来へプロジェクト」で 多様な事業者のプラットフォームを 株式会社 御祓川

取り組み背景

民間の中間支援組織として能登の事業者への事業支援を行うため、能登スタイルストアというネットショップとコワーキングスペース bancoを拠点とした「御祓川大学」という市民大学を運営している。世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」を未来へつなげていくという共通課題に向けて、多様な事業者がつながる場の必要性を感じていた。

ニーズ・シーズ収集

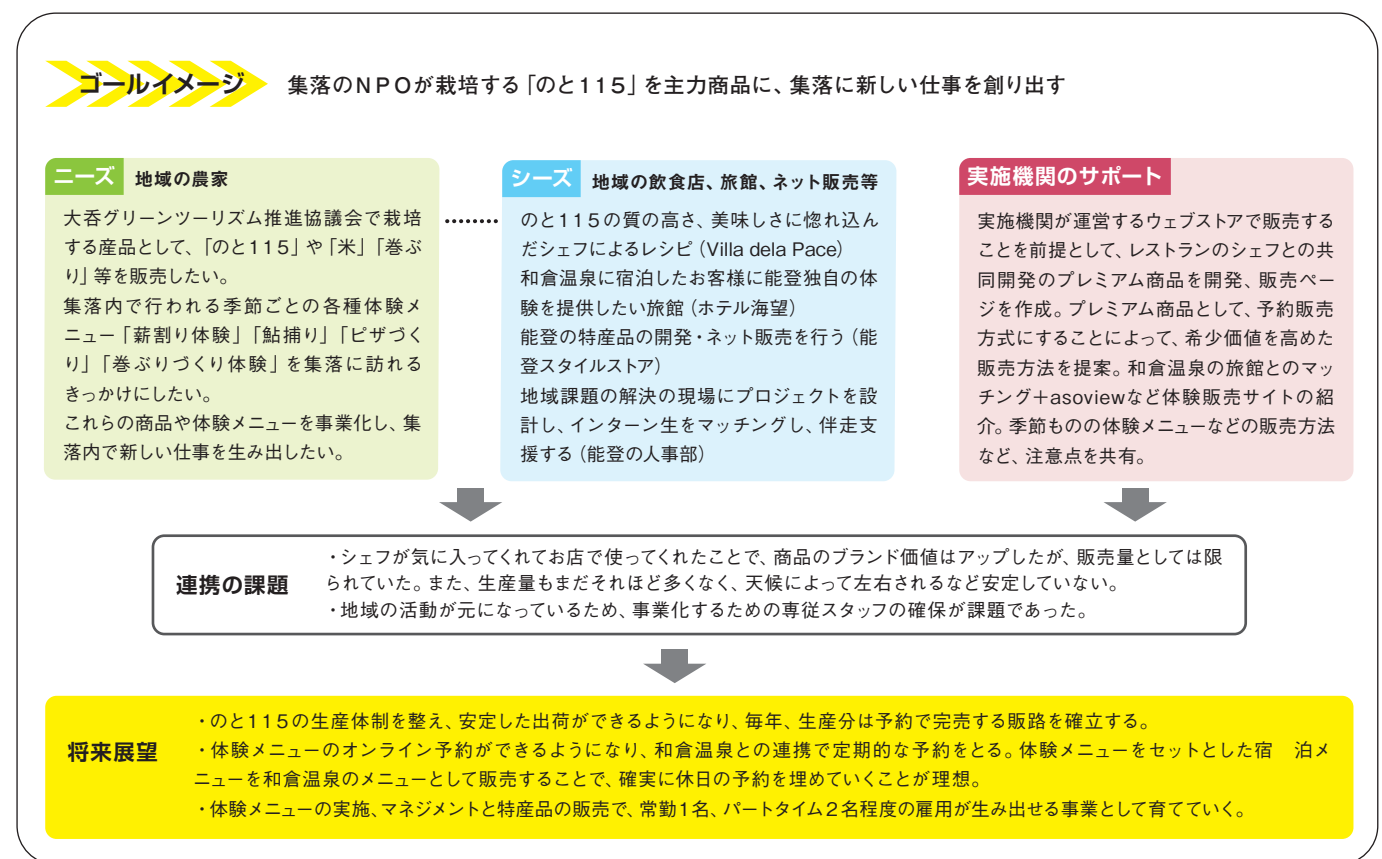
「能登の里山里海を未来へプロジェクト」という4回シリーズの連続講座を開催し、毎回、テーマに応じて事業者が集まり、自社のビジネスを見直し、新しい取り組みについて考える場を設けた。講座に参加できない事業者については、個別にヒアリングを行った。

マッチング手法

講座の中でお互いの取り組みを共有し、どこで手を組めそうかをその場でアイディア出しをしていくという方法で行った。直接、講座の場で名刺交換や交流ができたほか、コーディネーターが介在することによって、必要な事業者を探してくるという方法でもマッチングを行った。

マッチング事例概要

能登の里山里海を活かすという視点でのマッチングを行ったため、事業者は農業者だけでなく、集落の課題解決をこれから事業化しようとするNPOや地域で新たな農業の担い手になりつつある福祉事業者も講座に参加した。中山間地域の取り組みと和倉温泉やネットショップとの連携によって新たな販路を開拓するというマッチングが見られた。



事例4 広島らしい一次産業の課題解決をはかる 農商工連携の推進 一般社団法人 とびしま柑橘倶楽部

取り組み背景

呉市周辺、とびしま海道の農業者と、広島県、呉市の地域資源であるレモンを中心とした柑橘類を、農・商・工業と連携し、加工品販売やブランディングを行ってきた。しかし、就農者の高齢化による耕作放棄地の拡大、新規就農者の激減が、レモンの需要拡大にも関わらず、供給不足という状況である。これは、農業者の経営を改善するための農業者自身の意識改革が必要であり、また、商工業、ITなど、課題を解決できる事業者と連携できていない事がわかった。

ニーズ・シーズ収集

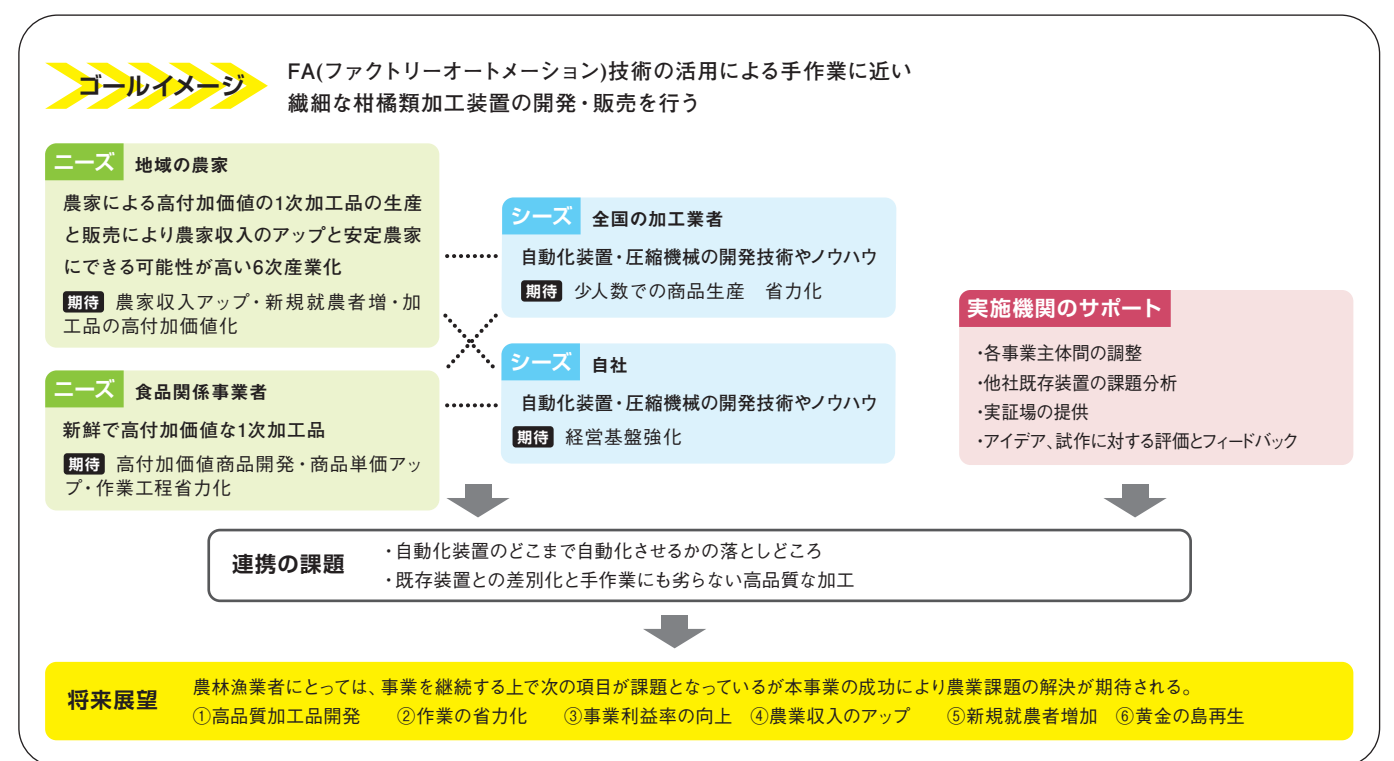
県、市との連携をはかり情報を得ながら、地域でセミナー等を行い、地域内外の農商工事業者への参加を呼び掛け、情報収集。農家への連絡方法は電話、手紙、回覧板等、地域に合ったツールを使用することで多くの情報を取得。農家少人数でのミーティング開催や、戸別訪問を行うことでも本質的な情報を取得。シーズについては、フォーラムの中で全国から参加していただいた中小企業と情報交換を行い、農林漁業者のニーズとマッチングを行った。

マッチング手法

フォーラムの開催前後にホームページやSNS、新聞、経済紙等で情報発信。電話、メール、SNSにて問い合わせやマッチング希望があり、必要に応じた支援を実施。また毎週土曜日には耕作放棄地での作業を実施。このフィールドが中小企業のみならず、農業や柑橘に興味を持つ学生から中小大企業のマッチングの機会となり、必要に応じて企業へ訪問、視察を行い、イメージを鮮明にし、事業提案を行っている。

マッチング事例概要

自動車産業を中心にFA(ファクトリーオートメーション)技術を有する事業者とマッチングに成功。新しい柑橘の圧搾機械を開発する事業について、農商工等連携法の認定を取得し、具体的な開発活動を行っている。このように、具体的な課題に対して、解決シーズを持つ事業者と法認定を取得し、国の支援を活用しながら有機的な連携モデルを地域に示すことで、更なるプレイヤーの連携を目指す。





事例5

フードバリューチェーンの構築と スマート農業の導入支援

那賀川町商工会

取り組み背景

徳島県南部にある阿南市の周辺部に位置する那賀川町は、早場米の産地として半農半Xに代表されるような典型的な農村地域である。また、商工会の会員事業所にも早くから農業法人化して大規模農業に取り組む事業所も少なくない。そのような状況のもと、スマート農業の導入や食品生産業者と農業者との連携・マッチングを進めることで基幹産業としての農商工連携による産業起こしにつなげていくことを目的とする。

ニーズ・シーズ収集

食品生産業者については、会員事業所からリストアップし意向調査を郵送で行い希望者を募った。農業者については、農業法人である会員事業所に加え、員外の地域で活動する農業者に対して、訪問聞き取り調査を実施した。対象20社に対しては、事業開始時より定期的に巡回訪問による個別ニーズ調査を実施した。また、郵送による展示会視察レポートやアグリビジネス・ニュースの送付を行い情報提供に努めた。

マッチング手法

食品生産業者と農業者に対する個別訪問にて得られた情報を事務局にて集約し、ニーズとシーズのマッチングを行った。本事業の中小企業診断士・コーディネーターと商工会の経営指導員が連携し、これまで培ったネットワークを用い県内の支援機関・事業所とのマッチングを行い、その後の事業がスムーズに推進されるように伴走型のフォローアップサポートを行った。

マッチング事例概要

新業態店舗【飲食併用型】として、鮮魚店が地域内に新規出店をし、本事業のマッチングを活用した地域外の仕入業者との連携で地域にない食材の提供を可能とした。また、パン製造業者は、地域の米作農業法人と連携することで玄米を活用した玄米パンの試作を実施した。この農業法人については、海外への輸出を目的とした有機JAS認定についても取り組んでいる。農事代行業者についてはスマート農業の導入について、事業支援している。



事例6

テリハボク種子からアロマオイルを 抽出・加工販売する連携事業

株式会社 エフエムみやこ

取り組み背景

開局17年を迎える島ラジオ「FMみやこ」は、放送による農漁業者や企業との結びつきが深く、様々な情報が集まってくる。近年、島素材を活用した商品開発や新たなサービス事業の展開並びに発展する観光産業と一次産業との連携を図りたいとの動きがあることから、製造技術不足や販路拡大の離島ハンディを解消する新たな事業創出活動について、放送局の強みを活かした情報発信と事業者マッチングに取り組むこととなった。

ニーズ・シーズ収集

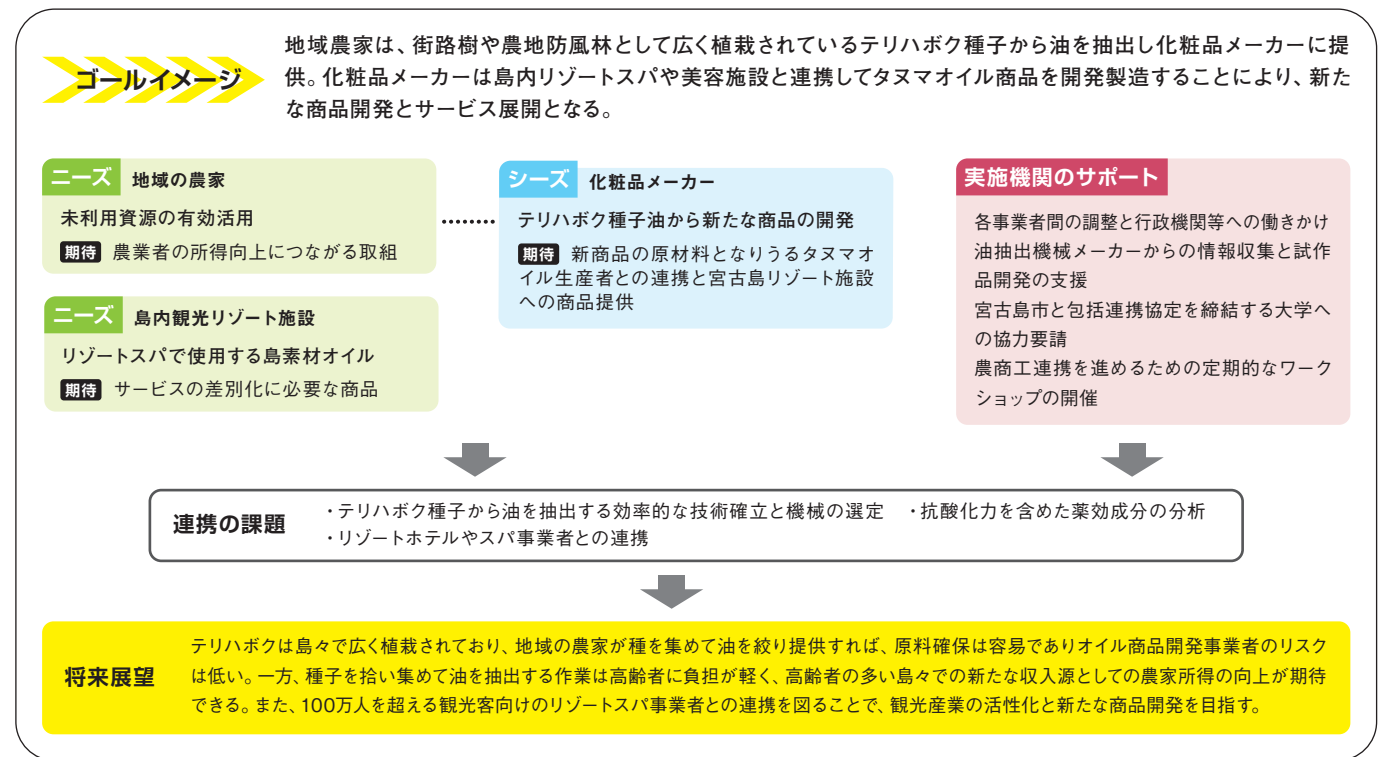
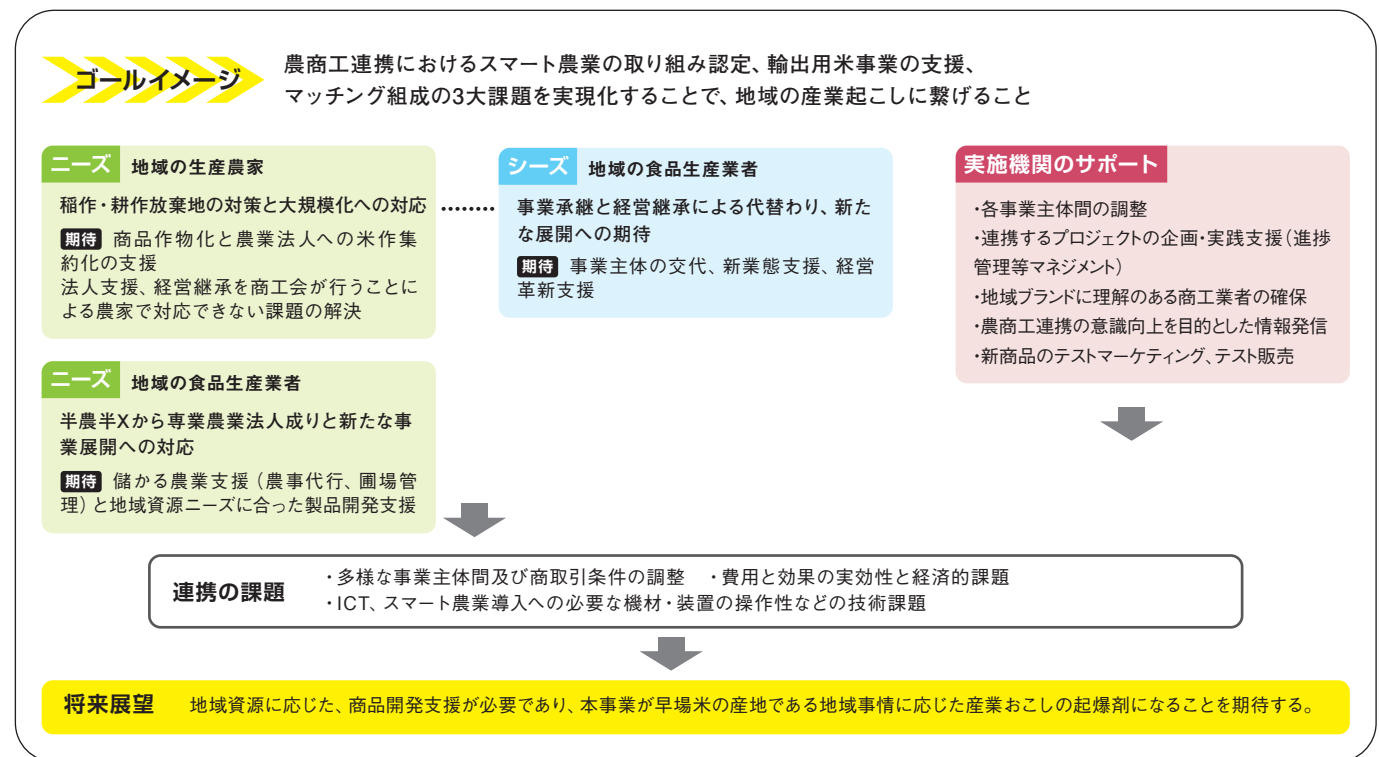
宮古島市や商工会議所・JA沖縄の担当者で面談ヒヤリングし、収集した農漁業者・中小企業者の情報に基づきニーズ及びシーズ調査を実施した。また、地元放送局の強みを活かしてFMラジオ番組内で農商工連携事業を紹介し事業に取り組みたい事業者への情報提供を行った。更に多くの地元スポンサー企業並びに取材等に基づく企業情報に基づき、農産物の加工や販売、商品化を計画する企業との接点を探り、シーズ及びマッチングに関する情報を収集した。

マッチング手法

農漁業者・中小企業者の連携を促進するため、事業者を定期的に訪問し情報提供並びに継続的にマッチングをサポートした。「商工会議所主催の宮古の産業まつり」イベント会場内にブースを設置し、出展事業者間や来訪農漁業者とのビジネスマッチングのきっかけづくりを実施した。また、飛躍的に伸びる観光客向けの商品開発や新たな観光サービスの提供に向けた連携が不可欠であることから、観光リゾートホテルや観光事業者と面談し、マッチングに向けた取組を行った。

マッチング事例概要

南西諸島に自生する常緑高木のテリハボクは、昔から屋敷防風林として植えられ、近年は畑の防風林や街路樹として広く植栽されている。テリハボク種子からは良質の油が採れ、昔はローソク代用として活用されていた。最近は、タヌマオイルとして商品化が進められ美容業界から注目されていることから、これまで利活用されなかった畑の周囲に植えられているテリハボクの種子を集め油を抽出し、化粧品メーカー等に販売するビジネスモデルを構築した。



実施機関名

一般社団法人 北海道食品産業協議会

農林漁業者について	
主な生産物	米(ゆめぴりか他)、春小麦、黒大豆、ポップコーン 等
ニーズ	農産物の海外販売、また加工(フリーズドライ、アルファ化)
中小企業者について	
主な事業内容	水産加工品製造業
シーズ	特許製法の「蛸の肉質軟化方法」、アルファ化米(特許取得) アルファ化技術:従来のアルファ化米と比べ、栄養分の流出が少なく、戻し時間が短くて済み、食味が良い。また、当社のアルファ化技術では、他の食材と併せて同時にレンジ加熱しても、それぞれの食味を壊すことなく仕上げる事が出来る。
マッチング内容	レンジ数分の加熱で炊けるアルファ米と、その容器を共同で開発する。また、麦などのアルファ化にも取り組む。更に、副材料、例えばトマトやタコなどを加え、「トマトライス」や「タコ飯」などの開発にも取り組む。

実施機関名

エミプラスラボ合同会社

農林漁業者について	
主な生産物	果樹(りんご、その他)
ニーズ	生産するりんごや梨などの高付加価値化に向けて、(地独)北海道立総合研究機構が開発したレアフルの製造を検討していたが、製造に必要なレトルト加工設備への設備投資及びレトルト加工ノウハウが課題で、設備及びノウハウを保有する企業との連携を模索。
中小企業者について	
主な事業内容	食料品製造業(レトルト食品製造業)
シーズ	レトルト設備の充実と長年培われたその運用方法で原料食材本来の持つ特性を損ねることのない加工ノウハウを堅持。レトルト設備の稼働率に余裕があり、設備及び技術を活用した新事業を模索。
マッチング内容	レアフルという特許を使ったりんご(果実)の新鮮レトルトパックの開発。 今まで保存できなかったりんごを加工食品として、砂糖などの甘味を加えず、自然な生の果実味を再現して出荷できる。今後の展望としては、お菓子メーカーとのコラボ商品の開発、個人向けパッケージでの販売を検討しており、広く北海道の果実への応用も可能になる。

実施機関名

公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

農林漁業者について	
主な生産物	オリーブ、玉葱、ペペーリーフ
ニーズ	埼玉県熊谷市で生産しているオリーブの様々な商品展開を考えている。特に、高い機能性成分が含まれている「オリーブリーフ」を使用した試作開発をしたい。
中小企業者について	
主な事業内容	ハーブティの製造・販売、ハーブの輸入
シーズ	バリエーション豊かな世界中のハーブを使用したオリジナルブレンドが特徴。買い付けを自社で行い、生産工場や農園と直接交渉し、良質なハーブを提供している。
マッチング内容	高い機能性成分を持つ国産オリーブリーフを原料として、適切な分量とオリジナルブレンドによる飲みやすく、健康に良いハーブティの商品化を目指す。本事業では味、色、香りの異なる5種類の試作を行い、両者で最終的な商品化まで進めていくことにした。オリーブリーフの機能性成分を早稲田大学で検証しており、商品化における科学的エビデンスとしての価値を得る。

実施機関名

協同組合 さいたま総合研究所

農林漁業者について	
主な生産物	国産ホップ
ニーズ	休耕地を使用して農産物を生産したい。
中小企業者について	
主な事業内容	地ビールの醸造所および店舗経営・地ビールの販売
シーズ	日本(地元八王子市)産のホップ生産農家を探索している。
マッチング内容	農家が休耕地でのホップ生産を行い、生産した全収穫量をシェアードブルフリーが買い取り、「日本産ホップ」と「輸入ホップ」の二つを顧客に提供する。純国産地ビールを販売するにあたり、体験価値付きでの販売を目指す。一般消費者にホップの収穫体験+地ビールの醸造体験を提供し、付加価値をつけた高額での販売を目指す。生産量が増加すれば、醸造所の2店舗目も検討している。

実施機関名

特定非営利活動法人 仕事人倶楽部

農林漁業者について	
主な生産物	山菜、キノコ、和クルミ
ニーズ	小さい和くるみの殻を一度に大量に割れる機械がほしい
中小企業者について	
主な事業内容	食品機械・銅パイプ加工機メーカー
シーズ	機械設計、電気設計から部品製作、組立、電装、調整、据付、メンテナンスまでの一貫体制。 顧客の希望とニーズに合った世界で唯一のオリジナル機械を作ることができる。
マッチング内容	久慈市山根町の和クルミの形状に合う、操作が楽で価格の安い機械の開発を検討。また、この商工業者は食品販売(菓子類)の業務も展開しており、販路開拓に関しても相談していける可能性がある。

実施機関名

株式会社 東北農都共生総合研究所

農林漁業者について	
主な生産物	米、野菜、生花、また、それらを使用した加工品の開発製造
ニーズ	JAIいのまき産ササニシキ炊飯パックの販路や、商品価値を高めるギフトといったコラボ商品の考案
中小企業者について	
主な事業内容	水産加工品の製造及び販売業 デザイン制作・地域産業の商品化や包装設計等
シーズ	米を必要とする製品(高級お茶漬け)の提供、梱包、販路など。石巻の商品加工技術と様々な食材を国内外へ発信し、石巻の魅力を伝える技術やツールの企画制作。
マッチング内容	地場の米を使い開発した炊飯パックの販路やギフトでの商品価値を高めようとする生産者と、最近高級お茶漬けを開発し、販路を探している事業者。両事業者の商品デザイン等にも関わったデザイン会社をハブとしながらデザインの統一を図り、包材も石巻らしさや統一感を考えながら長所を持ち寄ったギフトを作成する取り組みを始めた。

実施機関名

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社

農林漁業者について	
主な生産物	トマト
ニーズ	B級品トマトの活用、トマトジュースの活用
中小企業者について	
主な事業内容	錠剤・健康補助食品製造業・食品加工業
シーズ	ゼリーを少量でスティック状にする
マッチング内容	自社で栽培したB級品のトマトを加工しトマトジュースの開発を行った。農産物直売所等での販売の他に、トマトジュースの活用方法について試行錯誤していたところ、女性向けに、スティック状で食べやすいゼリーの開発をするにあたり、地域で唯一、少量でのゼリー加工をすることができる事業者が、地元の果物や果実を使用したゼリーを開発する意思がありマッチングが成立。道の駅などでのおみやげ品での販売や、通信販売での販路開拓も視野に入れている。

実施機関名

株式会社 テスク

農林漁業者について	
主な生産物	養鶏 採卵鶏
ニーズ	採卵である程度販路と実績の上で養鶏経験を活かした新たな展開の構築 地元の地鶏(遠山地鶏)を活かした新しいブランド、観光資源としての活用等
中小企業者について	
主な事業内容	ITソリューションとマーケティング／販売、利用促進のシステム開発、運用 運用の効率化促進システム開発、運用／教育関連システム開発、構築
シーズ	航空宇宙技術及び実証データに基づく新たな地鶏の開発 各地域の動物園との事業、宇宙開発に関係する機関との繋がり
マッチング内容	宇宙開発関連機関の研究、実績データに基づき新たな飼育方法の確立。食肉分野での価値向上、新規ブランドの創出を目指す。今年10月より、試験施設を構築し、試験飼育をスタート 第一次試験を終了し、食味テスト、食品分析を進める。 第二次試験への方向性を検討中。

実施機関名	
株式会社 十六銀行	
農林漁業者について	
主な生産物	さつまいも
ニーズ	今年度から生産を開始したさつまいもの販路を拡大したい。
中小企業者について	
主な事業内容	ドライフルーツの輸入販売・食品加工販売
シーズ	現状、他県産のさつまいもを使った「真空パックの焼き芋」を販売しており、「真空パックの焼き芋には需要があるが、他の類似商品との差別化をはかるため、岐阜県産のさつまいもであることを強調し販売したい。
マッチング内容	
農協職員と食品加工会社がグループとなって、新商品を考案するワークショップを実施し、考案した「岐阜県産のさつまいもを使った真空パックの焼き芋」を開発していくこととなった。 産地と品種に関連した商品名を付け、岐阜県産のさつまいもを強調、またJAのロゴマークをパッケージに付け消費者に安全・安心をアピールする。	

実施機関名	
特定非営利活動法人 人材育成センター	
農林漁業者について	
主な生産物	養豚、精肉（地元のさくらポーク（豚））
ニーズ	インターネットや海外も含め、販路を拡大したい。 加工品開発
中小企業者について	
主な事業内容	農産物直売、加工、販売、ネット販売
シーズ	直売所で販売、会員への通信販売、インターネットを使用した販売
マッチング内容	
農業事業者のニーズである販路拡大のために、まず、商工業者「うりぼう」の直売所で、商品の販売を開始する。また、うりぼうの会員にむけて通信販売とネット販売も開始し、間接販売のノウハウをマスターする。その中で、共同で新商品（豚肉を入れた餃子等）の開発を行い、ブランド力をつけていく。 地方での豚肉生産から、販路を拡大、新商品を開発し、ブランド力をつけて日本中だけでなく、海外へも販売していく事で収益を上げる。	

実施機関名	
庄原商工会議所	
農林漁業者について	
主な生産物	キャベツ
ニーズ	生産性の向上、省力化
中小企業者について	
主な事業内容	製造業/情報システム業/工業大学（3社）
シーズ	・多様な農業機械の開発改良（製造業者） ・システム開発（情報システム業者） ・研究開発（工業大学）
マッチング内容	
現在、キャベツの小規模～中規模圃場において、手作業で収穫しコンテナに手で入れているが、その生産性は良いとは言えない。（大型圃場は自動収穫機で収穫している）そこで、上記商工業者のシーズを集結し、作業者追従コンベア運搬車の開発を行うものとする。本機械の導入により、同じ生産性の作業を5人から2人に減らしても同時間でこなすことができるものと想定される。	

実施機関名	
一般社団法人 山口県中小企業診断協会	
農林漁業者について	
主な生産物	水稻・自然薯など
ニーズ	組合員の高齢化により耕作放棄地がある 繁閑の差が大きく、自然災害のリスクも大きい 季節を問わず平準化された仕事量になるとよい
中小企業者について	
主な事業内容	人材派遣（携帯電話販売店・電気設備施工事業者向けなど）
シーズ	派遣先事業所の閑散期には派遣可能な人材がある 電気設備や機械制御に詳しい人材がある 相応の資金調達力と営業力がある
マッチング内容	
農事組合法人の組合員が保有している土地に人材派遣会社が環境制御型ハウスを建設し、葉物野菜の通年栽培をする計画を立てた。 農家は栽培ノウハウを提供。現在、ハウスの建設中。	

実施機関名	
株式会社 総合計画機構	
農林漁業者について	
主な生産物	桑
ニーズ	健康食品（有効成分DNJに着目したダイエットや高血糖対策素材）として、ペットフードメーカーとの連携や医療機関と連携した糖尿病患者の服用促進などにつながる商品開発。
中小企業者について	
主な事業内容	Caイオンの安定製造法を礎にMyNICシリーズの開発・販売
シーズ	MyNIC-Sを与えた鶏卵の抗酸化による高付加価値玉子の生産（現在実験中）
マッチング内容	
鶏卵の抗酸化に加え、桑の栄養価が取り込まれることで、さらに高付加価値のおいしい玉子になると予想し、ヒヨコのエサに桑を混ぜる実験を行う。実験場所は、事業者が連携している香川県浪内の鶏場。	

実施機関名	
株式会社 シーズ総合政策研究所	
農林漁業者について	
主な生産物	米
ニーズ	大規模農業における稲の品質向上のため、ICTの導入により、水温や水量の適切な監視を実現したい。
中小企業者について	
主な事業内容	各事業におけるICTの導入による事業サポート
シーズ	農業や畜産業においてネットワークやクラウドによる生産現場の監視や情報の収集・整理・活用を行い、事業の効率化や安定化を支援。
マッチング内容	
土壌成分量の分析や水位計を利用した水田の水位監視などを行うシステムの導入を検討。電池交換式で設置も簡易であり、作業内容もスマートフォンで自動記録可能。 今後の課題としては、広い圃場すべてに設置するとコストが高くなるため、効率的な設置を検討する必要がある。限られた従業員であるため、入力の手間は限りなく抑え、労働生産性を上げる必要がある。	

実施機関名	
株式会社 リバースプロジェクトレーディング	
農林漁業者について	
主な生産物	繭、桑葉
ニーズ	蚕の餌である桑の葉には、ビタミン・ミネラルのほか、血糖値を下げる効果があると言われ、糖尿病予防やダイエットに効果が期待されている。農商工連携によって、桑の葉を有効活用できる商品を開発したい。
中小企業者について	
主な事業内容	茶の製造販売
シーズ	通常、茶農家は年に数回、数種類の薬剤を茶の木・葉に散布するが、農業不使用中にこだわり、お茶の製造販売を行っている。
マッチング内容	
桑の木の栽培には、近年は化学肥料や除草剤などの使用が一般化しているが、蚕は農業に弱いため、桑の木に農業を散布することはない。無農業でつくられた桑の葉をそのまま丁寧なお茶として製造するため、農業不使用中にこだわったお茶づくりを長年されてきた大西茶園において桑茶の商品化を目指す。	

実施機関名	
一般社団法人 九州の食	
農林漁業者について	
主な生産物	菊芋、米、椎茸など
ニーズ	現在、スーパーフードとして注目されている菊芋を栽培している。生イモで販売しているが、畑のインシュリンとして認知されている作物のため、年間を通して食せるように加工品を作り、消費者の健康づくりに寄与し産地化を図りたい。
中小企業者について	
主な事業内容	食品製造販売・食品加工業
シーズ	大分市ふるさと応援名物のにら加工品を製造販売しているが、単一原料のため広がりがない。そこで、健康増進につながる素材を探し健康食品として新製品づくりを模索している。
マッチング内容	
スーパーフード“菊芋”を、通年販売するため、生イモをカプセル加工技術を持つ中小企業者に送り、洗浄、スライス、乾燥、粉碎、パウダーにした後にカプセル化した。両社で商品設計および販売にこぎつける予定である。	

実施機関名	
公益財団法人 大分県産業創造機構	
農林漁業者について	
主な生産物	米、赤米
ニーズ	米農家として安心院町で米や赤米などを生産しながら、(株)粉工房うさを立ち上げ、米粉、きな粉等を製造。また、うどんや大分の郷土料理であるやせうまなどの加工食品を委託製造して販売。自農園の米を使用した「ボン菓子おこし」の販売を計画しており、県内の委託製造企業を探している。
中小企業者について	
主な事業内容	食品製造、土産物販売、飲食業
シーズ	日田市天瀬町の高塚地蔵尊の参道で土産物販売を行うとともに、平成29年からボン菓子の製造販売を行っているが、販路も限られており製造能力に余裕もあるので、ボン菓子の製造受託を行いたい。
マッチング内容	
農業者が生産した米を使った「ボン菓子おこし」を(有)大徳においてサイズや味などいろいろと変えながら試作した。また、ラベルデザインを印刷会社に依頼し、試作した。 31年度に農業者と取引のある道の駅等で販売するとともに、将来的に香港等への輸出も視野に入れている。	

実施機関名	
株式会社 萌す	
農林漁業者について	
主な生産物	魚
ニーズ	現在では、魚群探知機では船の真下でしか魚を見つけることができないため、海に出た際に魚がいる場所を広範囲で特定できればより効率が上がる。
中小企業者について	
主な事業内容	・事業戦略企画支援コンサルティング/マネジメント組織強化支援コンサルティング ・ドローンに関する全般的なコンサルティング事業 他(2社)
シーズ	事業コンサルティング・ドローン技術、IT化技術等
マッチング内容	
ドローンやセンサーを使って、波の状態や水質・水温などを調査、分析、データ化して効率的に漁獲量に繋がることを試みる。通常の魚群探知機は船の下しか探せず、無限の海を航海しなければならないが、センサーやドローンにより、その必要がなくなるので、効率化が図れ、燃料費の削減にもつながる。	

実施機関名	
一般社団法人 宮崎県農業法人経営者協会	
農林漁業者について	
主な生産物	キャベツを中心とした青果物
ニーズ	・生産物の安定供給先を確保し、市況変動リスク要因の低減を図りたい。 ・生産地の集約化を図り生産の効率化に加えて集出荷のコストダウンを図りたい。
中小企業者について	
主な事業内容	青果物及び加工品の卸売事業、外食関連企業:外食チェーン展開及び販売 農産物栽培機械事業者
シーズ	・生産者及び流通業者とのネットワーク機能の有効活用 ・外食関連企業の持つ販売力と資本力の有効活用 ・農産物の生産の機械化によるコストダウン
マッチング内容	
大型の圃場にキャベツ生産用の機械を導入することにより、生産コストの削減と安定供給が可能になる。それにより、外食産業へ供給することで販路規模の拡大や、その他販売契約先が増え、販路拡大、売上高向上につながる。	

平成30年度農商工連携促進事業 実施機関

●北海道

一般社団法人 北海道食品産業協議会

一般社団法人 北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部

エミプラスラボ 合同会社

●東北

岩手県

特定非営利活動法人 仕事人倶楽部

宮城県

株式会社 東北農都共生総合研究所

●関東

埼玉県

公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

埼玉県

協同組合 さいたま総合研究所

埼玉県

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社

神奈川県

横須賀商工会議所

長野県

株式会社 テスク

●中部

石川県

株式会社 御祓川

岐阜県

株式会社 十六銀行

三重県

特定非営利活動法人 人材育成センター

●近畿

大阪府

株式会社 総合計画機構

●中国

島根県

株式会社 シーズ総合政策研究所

広島県

一般社団法人 とびしま柑橘倶楽部

広島県

庄原商工会議所

山口県

一般社団法人 山口県中小企業診断協会

●四国

徳島県

那賀川町商工会

愛媛県

株式会社 リバースプロジェクトレーディング

●九州

福岡県

一般社団法人 九州の食

大分県

公益財団法人 大分県産業創造機構

宮崎県

一般社団法人 宮崎県農業法人経営者協会

沖縄県

株式会社 萌す

沖縄県

株式会社 エフエムみやこ